

自分でも3月分の月例報告書を書いていることが信じられないくらい、留学の期間が経過していることを実感しています。

今月は日本から友達が会いに来てくれたので、アルゼンチンへ旅行にいき、ブラジルのリオデジャネイロとサンパウロの観光もしました。8か月目にして私がこれまで体験してこなかった様々なことが起きたのでそれについても報告したいと思います。



VIAGEM À ARGENTINA



ブラジルとも国境を接しているアルゼンチンに1週間ほど旅行に行きました。使用されている言語はスペイン語でポルトガル語と似ているとはいえ、別の言語なのでスムーズに旅ができるか心配でした。大学の友達からは、ゆっくりポルトガル語を話せば向こうは理解してくれて、英語も通じるはずだから大丈夫だと言われ、信じて行ったものの、全くそうではありませんでした。また、基本バスで移動をしていたのですが、同じ線でも行先や経路が変わることを知らず、初日から大混乱の旅になりました。

首都のブエノスアイレスだけでなく、南部に位置するエル・チャルテン、エル・カラファテも訪れました。同じ国でもそれぞれの町で景観や自然の特徴が全く異なるのでそれぞれ紹介します！

BUENOS AIRES

「南米のパリ」と称されるほど美しい街並みが広がっており、文化・芸術スポットがたくさんありました。ただ外を散歩するだけでも目を奪われるような立派な建物で埋め尽くされていて、劇場や美術館、教会を巡りました。サンパウロよりも危険に感じることはなく、夜も歩いて帰ることができました。バスの値段がかなり安く、本数も大量にあるため、住民の重要なライフラインであることを実感しました。バス専用の道路が二車線もあり、日本ではなかなか見られないほどの大通りに圧倒されました。



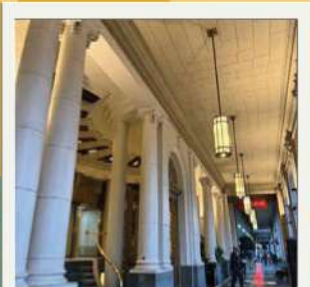
国立美術館



AL ATENEO
本屋



CASA ROSADA



SHOPPING

EL CHALTÉN

エル・チャルテンはとても小さな町で、トレッキングや登山を目的に訪れる人が多く、アウトドアブランドのパタゴニアのモデルにもなっている山を有しています。夏期である3月に行ったことで軽装備で登山することができ、天候にも恵まれ、初日の登山で「燃える山頂フィッツロイ」を拝むことができました。想像以上に体力勝負で、早めに宿を出て、簡単なコースを選択したにもかかわらず、日の出までギリギリで、次の日は一日中寝込むことになりました。それでも見た景色は一生に一度のもので、写真や動画では感じることでできない圧巻の大自然を味わうことができ、素晴らしい体験ができました。



登山を支えてくれたファビとルー

RIO DE JANEIRO

ブラジル8か月目にしてリオデジャネイロへ観光しに行きました。サンパウロの人からするとリオの方が危ないイメージがあるようですが、リオの人からするとサンパウロの方が危ないと思っているようで、どっちが本当なのかは分かりませんでした。とにかく安全に気を付けていました。私は、リオの方が穏やかでゆったりした雰囲気だと感じ、サンパウロの方が危険なことが多いなと思いました。ですが、リオでの恐ろしかった体験をお話させてください。メトロに乗るための地下道を歩いているときに起きたことです。ブラジルには道で物を売っている人達が多くおり、雨が降ってきたので彼らが一斉に帰り始めたのですが、彼らの間で喧嘩が起きてしまいました。ちょうど真横を歩いていた私たちは、気に障らないように早歩きで抜けようと思いましたが、彼らは物を使って頭を殴り始め、それを見た私は恐怖で早く逃げないという気持ちになりました。改札をくぐれば安全地帯になることを願って改札まで走って、カードをかざし、無事に通ることができました。この時には、現地の知り合いの方も一緒にいてくれたので、落ち着いて行動することができましたが、一人だったらどうなっていたか分かりません。ブラジルに来てからこのような体験は初めてで、改めて自分の身は自分で守らなければいけないと実感しています。

